

現場説明書等に対する質疑回答書

工事名：鹿児島大学（郡元）ライフライン再生（特高受変電設備等）工事

現場説明書等に対する質疑回答書

工事名： 鹿児島大学（郡元）ライフライン再生（特高受変電設備等）工事

番号	図番	質 疑 事 項	回 答
1	E-19,23	図面番号 E-19 では、系統表示盤において系統表示を行うことが謳われていますが、具体的な表示範囲は、図面番号 E-23 よりテイクオフおよび負荷名称までとの理解で宜しいでしょうか。	宜しいです。
2	特-E01	図面番号特-E01 では、この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任することが謳われていますが、電気保安技術者の施工期間における現場への常駐は求められないとの理解で宜しいでしょうか。	常駐は求めません。ただし、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版 第1章一般事項 第2節 工事現場管理 1.3.2 電気保安技術者（4）に記載の通り、電気工作物の保安業務を行う必要があります。
3	E-24	図面番号 E-24 は参考扱いとありますが、テイクオフ盤については本図の通り、VCB二段に合わせた2枚扉とすることが求められているとの認識で宜しいでしょうか。	必ずしも2枚扉にする必要はありませんが、変更を行う際は監督職員との協議が必要です。
4	E-41,42	図面番号 E-41 および E-42 において、将来用のポイントが記載されていますが、今回工事ではこれらのポイントを予め実装した上で、PV関連以外は入出力用端子台まで用意することが求められているとの認識で宜しいでしょうか。	将来用のポイントは PV 関連も含めてすべてポイントを実装して、端子台まで用意してください。
5	E-63	図面番号 E-63 に撤去対象としてデマンド表示端末が含まれていますが、これらの設置場所および配線状況についてご提示をお願いします。	デマンド表示端末は変電所外にあり、撤去対象ではありません。 構内の配線（光ケーブル）については、全て撤去としてください。今回配布する追加図面 E-66 を参照ください。
6	E-63	合わせて、デマンド表示端末の撤去に関する撤去ケーブルの数量を開示して頂けないでしょうか。	OFC 光ケーブル 屋内ケーブルラック上敷設 36m 屋外ケーブルラック上敷設 2,014m FEP 管内敷設 1,380m 管内敷設 689m
7	特 M-01 特 E-01 特 A-01	機械設備、電気設備及び建築工事特記仕様書には工事における火気使用に関して記載されておりません。火気は使用できると考えて宜しいでしょうか。	施工内容に応じて判断しますので、監督職員と協議を行ってください。
8	M-05	空調換気改修前 R 階平面図で機械室に空調制御盤（壁掛 500W×600H×200D）×1 面の撤去がありますが、盤単独の撤去で外部接続配線は全て離線・撤去されていると考えて宜しいでしょうか。	監視室・事務室の CO2 消火設備受信盤まで配線が残っているため、撤去が必要です。今回配布する図面 M-04,05 を参照ください。 プルボックス 1 個 電線管 E25 29m 電線 IV1.6 29m 電線 IV5.5 63m

9	特 M-01 特 E-01	機械設備及び電気設備特記仕様書に他工事又は他工種との取合は工事区分表によるとありますが、工事区分表が不明です。ご指示下さい。	表記の間違いです。建築及び機械設備工事と一括発注の為、工事区分表は示しておりません。
10	M-04 A-07	空調換気改修後 4 階平面図で高圧変電室北面外壁の外気取入用防水ガラリ×3 は建築工事となっておりますが、意匠北側立面図では改修前撤去及び改修後新設とも設備工事となっております。外壁ガラリ工事は全て建築工事と考えて宜しいでしょうか。	表記の間違いです。建築及び機械設備工事と一括発注の為、工事区分はありません。外壁ガラリ工事は撤去・新設共に全て本工事です。ガラリの仕様等については今回配布する図面 A-03,04,07 を参照ください。
11	M-10	衛生改修前 4 階平面図で監視室・事務室南西に CO2 消火設備受信盤（1,400W×1,800H×350D）が実線で表記されておりますが、撤去は機械設備の本工事と考えるのでしょうか。本工事の場合は盤単独の撤去で外部接続配線は全て離線・撤去されており、消防関連等の手続きも一切無いと考えて宜しいでしょうか。また盤の概算重量もご指示下さい。	建築及び機械設備工事と一括発注の為、工事区分はありません。CO2 消火設備受信盤の中に、R 階の空調制御盤の配線が含まれています。CO2 消火設備は撤去済で、外部接続配線も離線・撤去済ですが、R 階の空調制御盤の配線の撤去は必要です。消防関連等の手続きは不要です。概算重量は、約 100kg です。
12	A-07, 14~ 16	建築工事で北面外部足場の設置ステップが記載されておりますが、建築及び電気関連で西・南・東面外部足場の設置があれば幅・高さ・時期ステップ等を概略ご指示下さい。	西面外壁において任意仮設として、鉄骨階段設置のための足場（幅×高さ：10.12m×14.00m 1 か所、2.04m×14.00m 1 か所）を見込んでいます。また、東面外壁においても任意仮設として、トイレ改修（換気等）のための足場（幅×高さ：5.40m×11.40m）を見込んでいます。なお、上記足場については設置時期ステップに関する大学からの指定はありませんので、工事契約後、実施工程を検討の上、適切な時期に設置ください。
13	C-01 現場説明書 別図 1/3	案内図・配置図及現場説明書別図 1/3 に於いて、工事車輛の駐車場所、搬入材料の仮置き場等を御指示下さい。	現場説明書別図 1/3 に示す通り、工事車両は工事用地②、搬入材料の仮置き場は、工事用地①・②をご使用ください。
14	A-14 S-2	A-14 変電所 1 階平面図と S-2 1 階伏図・設備基礎リストに於いて、防災室の設備基礎寸法に相違があります。 基礎No. A-14 S-2 F1A 3,400×4,500 2,800×4,500 F3 1,400×1,000 2,000×1,600 F4 550×1,400 700×1,400 S-2 が正と解して宜しいでしょうか。	宜しいです。
15	S-2	S-2 1 階伏図・設備基礎リストに於いて、既存土間コンクリート及シンダーコンクリートと設備基礎との接触部分に緩和材設置の必要有無を御指示下さい。	緩和材の設置は必要ありません。
16	S-2	後打ちのシンダーコンクリートに鉄筋またはワイヤーメッシュは必要無いでしょうか。必要ならば仕様を御指示下さい。	特記仕様書（特 S-01 図）8-1 鉄筋工事中の溶接金網に記載のとおり、シンダーコンクリートには溶接金網 6φ-150×150 を使用することとします。

17	A-11	<p>1 階変電室天井がアスベスト含有形成板になっており、既存撤去となっております。</p> <p>現状天井材の取り状況は LGS 下地にケイカル板ビス止めパテ処理上塗装仕上げでしょうか。</p> <p>また、ケイカル板のビス穴の位置は下から確認できますでしょうか。確認現地調査が出来ない為、撤去方法を検討する必要があります。御指示下さい。</p>	<p>1 階特高変電室の既存天井は、LGS 下地+ケイカル板（900 角、t6）+パテ処理の上合成樹脂エマルジョンペイント塗りです。</p> <p>また、ケイカル板のビスの位置は下からおおよそ確認できます。</p>
18	A-02	<p>1 階変電室天井撤去後の天井インサートは錆止め塗装で宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
19	A-02	<p>1 階変電室 新設間仕切り壁 ALC 壁は素地のままとっていますが、新設外壁 ALC 壁の変電所内部も素地のままで宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
20	E-50	<p>仮設発電機設置に伴い、構内搬入道路及び発電機設置場所に、床面養生の為に敷鉄板は必要でしょうか。</p> <p>必要な場合の面積をご指示頂けないでしょうか。</p>	<p>養生については仮設発電機の仕様等に応じ受注者の判断で行ってください。</p> <p>ただし、E-50 の仮設発電機機器仕様の欄に記載しているとおり、仮設終了後は現状復旧が必要です。</p>
21	E-12~18	<p>ステップ-1 後の 1 号~3 号引込ケーブルを床ピットからケーブルラックを経由し引込ルートの変更になっていますが、一般送配電事業者（九州電力）との施工時期の打合せは終了しているのでしょうか。</p> <p>打合せが終了している場合、施工時期はいつ頃を予定しているのでしょうか。</p> <p>また、全体ステップに関する工程表があれば、頂けないでしょうか。</p>	<p>1 号~3 号引込ケーブルのルート変更時期について、一般送配電事業者との打合せは実施済みです。</p> <p>施工時期は令和 5 年 1 2 月~令和 6 年 3 月を予定しています。</p>
22	E-50 ・現場説明書（「現場説明書別図 1/3」）	<p>図面番号 E-50 に記載のカラー鋼板（仮囲い）やキャスターゲート及び現場説明書（「現場説明書別図 1/3」）に記載の仮囲いやパネルゲートに係る費用は、共通仮設費（積上げ分）として計上で宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>